

## 福井銀行が福邦銀行の増資を引き受け一福井銀行の格付への影響は限定的

以下は、株式会社福井銀行（証券コード：8362）による、株式会社福邦銀行（証券コード：-）の第三者割当増資引き受けについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当行と福邦銀行は、本日、福邦銀行の公的資金の返済を前提に、第三者割当の方法により当行が福邦銀行の普通株式を引き受ける基本合意を決議した。発行価額総額は50億円の予定で、福邦銀行が当行の子会社となるか否かは現時点において未定である。
- (2) 当行は資金量2.6兆円の地方銀行、福邦銀行は同0.4兆円の第二地方銀行で、ともに福井県を主要な営業基盤としている。2行は、20年3月に締結した包括提携「Fプロジェクト」の下、それぞれのブランドを維持しつつ、一つの金融グループを目指し、顧客サービスの向上や組織・業務改革など様々な施策を展開している。主要な経営インフラである店舗に関しては、各々の営業拠点の集約や共同拠点の新設などで連携し、サブシステムに関しても、当行が利用するクラウド基盤の共同利用を進めている。今般の増資に伴う新たな金融グループの誕生は、事務の共同化なども含む業務運営における2行の結び付きをより強固なものにすると考えられるが、当行の格付への影響は限定的とみている。
- (3) 当行の総資産規模は福邦銀行の約7倍と大きいため、グループ全体の信用力には主として当行の信用力が反映される。当行について、資本水準はBBBレンジの地域銀行としては良好であり、基礎的な収益力も相応の水準を確保しているが、今後は、本店建替に伴う償却コストの発生などが収益を圧迫していくとみられる。2行は包括提携において、5年間で累計40億円のシナジー（2行合算）を創出する方針を掲げているが、福邦銀行においても新勘定系システムへの移行にかかる償却負担が増すなか、シナジーの早期実現などによりグループ全体の収益力を高めていくことが重要な課題である。

（担当）木谷 道哉・古賀 一平

### 【参考】

#### 発行体：株式会社福井銀行

長期発行体格付：BBB+ 見通し：安定的

#### 発行体：株式会社福邦銀行

長期発行体格付：#BBB-/ボジティブ

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル